

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 1年 11月 18日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470103940		
法人名	株式会社 ひょうま		
事業所名	グループホーム ひなたぼっこ・亀山		
所在地	〒731-0231 広島県広島市安佐北区亀山五丁目9番13号 (電話) ①082-819-3255 ②082-814-3777		
自己評価作成日	令和1年10月15日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3470103940-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和1年11月14日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

家庭的な雰囲気の中で入居者が本人らしい生活が送れるように「ドライブに出掛けたい」「仕事がしたい」「〇〇が食べたい」などの希望にも柔軟に対応している。日々の生活の中から役割を持つ事、活躍できる場面、自己決定できる場面をできるだけ多く持つようにしている。入居者の声に耳を傾ける等、能力や状態に応じた自立支援に柔軟に対応できる体制にしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

利用者と職員が手作りした料理を職員と一緒にテーブルで、美味しいといいながら食べることができるよう食事を大切に考えて実践している。利用者の能力を活かし長く現状維持が図れるよう利用者目線に立った歩行や排泄などの自立支援への対応が行われている。近隣地域との関係も良好でボランティアの受け入れも活発であり、災害時の協力関係も築かれている。利用者のちょっとしたつぶやきも聞き逃さず、墓参りの同行や将棋の相手を地域から探して来たり、好きな番組を録画しておくなど目配り、気配り、心配りの支援がなされている。身体拘束防止・転倒予防対策・利用者の尊厳が守られる言葉遣いなどの研修にも力を入れている。

自己評価	外部評価	項目(亀山①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所の理念を玄関に掲示してある。又、達成する為にホーム内の目標を決め実践できるよう掲示し達成できているか定期的に話し合いを設けている。	理念を共有しケアにより反映させるために、「目配り、気配り、心配り」等の具体的目標をホーム内で策定している。目標達成に向けて職員同士、反省や、気づきを日々のケアに活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	馴染みの地域・近隣の小学校の諸行事など交流を図っている。公民館活動を通じてのボランティアの慰問も有り、お祭りなどの季節行事にも参加しており、地域の年一度の防災訓練にも参加している。	近隣に集会所があり、事業所自体が地域に溶け込んだ環境にある。近所のボランティアが利用者と一緒に歌を歌う会を開催し、15年も続いている。毎回の歌の会は利用者の楽しみであり、健康にも寄与し、利用者同士のコミュニケーションづくりにも役立っている。また中学生の職場体験も受け入れ利用者にも喜ばれている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方の訪問、オレンジカフェの参加などホーム内での対応や方法など理解し協力いただいている。又、中学校の職場体験受け入れを行うことによりその場限りではなく交流の輪が広がっている。介護従事者を増やす為に初任者研修の実習の場として提供している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一度ホーム内で実施した行事・今後の行事予定・取り組みなどの報告を行い出席者の意見を反映させサービスの向上・実践に繋がるよう努めている。3ヶ月に一度開催される身体拘束防止委員会での内容報告もしている。	他のグループホームにも参加してもらい情報を取り入れ、ケアの向上に活かしている。運営推進会議の折に、夜間想定避難訓練を行い、その様子を見てもらい、感想を実践に繋げている。火災時に救出した人の部屋の表札を裏返すことにしていたが、緊急時には一人ずつの対応は無理ではないかなどの意見が出、検討材料として取り組んでいる。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	ホーム内での事故・感染などが発生した場合の報告及び運営推進会議の案内と議事録の送付を行っている。地域包括センターとの連絡も密に取り協力関係が築けるよう努めている。	地域包括支援センターとは常に運営推進会議に参加してもらい、インフルエンザ対策や介護の資料や地域の情報など提供してもらい協力関係を築いている。	

自己評価	外部評価	項目(亀山①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員会議や外部研修の都度、身体拘束防止の勉強会の場を設け、職員間でも共通の意識を持ち取り組んでいる。単独外出などの事故を未然に防ぐことができるよう入口にはセンサーを設けているが、3ヶ月毎の身体拘束委員会を開催し防止に努めている。	他の利用者を介助している際に、「ちょっと待って」と言いがちなが、待つ理由を述べるようにしている。身体拘束の具体例や防止対策を身体拘束防止委員会、職員会議、運営推進会議等で常に取り上げ周知し、共通認識を持ってケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	定期的にチェック表に基づき改める機会を設け、細心の注意を払い、時間と距離を置き職員交代などをして防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	職員会議・外部研修にて勉強会を行い、学んでいる。現在、成年後見人制度を利用されている方は居られないが、必要性に応じて関係者との話し合いを行い支援に努め、パンフレットも玄関に置いている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ご家族・本人との話し合いを持ち不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得していただけるよう努めている。契約時には書面に書かれていない例えで、解りやすく説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議へご家族の参加を幅広く募ったり、来所時や電話にて意見等聞けるよう努め、反映させている。また、本人の意見等を話せる機会も設けている。年に一度のご家族アンケート(無記名)に意見できるスペースを設けている。	利用者の思いに常に寄り添い、話しかけ、要望を聞いている。折り紙の鶴が貯まり、平和公園に供養したいという利用者と同行したことが、その後の日々の励みにつながっている。運営推進会議に出席されない家族に関しては事業所や職員への要望など電話で直接意見を聞き、運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項 目(亀山①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	連絡ノートや職員会議、また時間のあ る時に個人的に話を聞く機会を持ち、 反映させている。意見があった場合に は、上司に報告している。	利用者にこんな電化製品があったらよ いなど提案し、上司から事業所に報告 して利便改善に繋げている。パートの 人も労働条件等直接上司に意見が言い やすい職場環境である。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力 や実績、勤務状況を把握し、給与水 準、労働時間、やりがいなど、各自 が向上心を持って働けるよう職場環 境・条件の整備に努めている。	面談にて職員個々の意見を聞く機会を 設け、シフトの偏りや業務マニュアル の変更を行い、協力を得ながら働きや すい職場環境を目指している。また、 職員の資格取得に向けた支援や、目的 意識を持つよう努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりの ケアの実際と力量を把握し、法人 内外の研修を受ける機会の確保や、 働きながらトレーニングしていくこ とを進めている。	なるべく誰もが外部研修に参加できる よう情報提供し、勤務体制を調えるよ う考慮している。また、毎月の職員会 議に相互の内部研修を行うようにして いる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と 交流する機会をつくり、ネットワー クづくりや勉強会、相互訪問等の活 動を通じて、サービスの質を向上さ せていく取組みをしている。	地域の年二回の交流会や意見交換、グ ループホーム交流会、地域交流の勉強 会へ参加したり、サービスの見直しの 機会を得るようにし改善できる点は参 考にしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、 本人が困っていること、不安なこ と、要望等に耳を傾けながら、本人 の安心を確保するための関係づくりに 努めている。	面談や事前の体験入居を行うことによ り、本人の希望や心配ごとなど考慮し ながら、信頼関係を築くようにしてい る。また、家族の思いについても考慮 している。		

自己評価	外部評価	項 目(亀山①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	家族の希望や不安などに添えるよう十分な時間を取り、いつでも話せる機会を設け、信頼関係を築けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居前には本人と家族の面談を行いアセスメントをし必要とされるサービスを取り入れ、時には地域サービス等のインフォーマルサービスの利用も検討することもある。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	普段の生活の中で、入居者に教えてもらうことも多く、本人の出来ることを活かしながら、自立を尊重し共に支えあい関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族との情報交換、また相談等を密にし、職員に出来ること、家族にしか出来ないことを話し合いながら支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	定期的な墓参りや、昔からの友人、ご近所との交流、買い物へ外出するなど馴染みの場所への外出、趣味を活かした地域交流、自宅などにドライブで出掛け家の様子などを見に行くなどで支援している。又、ご家族と一緒に外出されることもある。	近隣の馴染みの友人の訪問もあり、関係継続を支援している。将棋やパソコンの相手がいないため楽しむことができない利用者のために、地域のボランティアを探し訪問してもらえるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項 目(亀山①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入居者同士の人間関係に配慮し、職員が話し相手となり孤立しないよう、席の配置、食事作りや作品作り、外出などを通じて支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	長期的には少ないが、定期的なお見舞いや、家族が来所されるなど一定期間の継続的な関わりを行っており、温かいお言葉や手紙を頂ける事もある。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人とのコミュニケーションを通して、希望や意見にできるだけ添えるように努めている。困難な方は、家族に相談するなどして対応している。	お盆が近づき墓参りに行きたいとのつぶやきを聞き逃さず、墓参りに同行し希望を叶える努力や支援がなされている。利用者がある言葉に顔が和らぐ場面をキャッチすると、職員はその言葉から思いを受け止め、どうしたら実践に移せるか利用者目線に立って検討し支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	今までの生活歴などを考慮、本人や家族に確認を行い、記録に残すなどして状況把握し、継続した環境作りに努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	入居者それぞれの状態、状況を常に意識して職員間で情報共有し、確認、把握に努めている。又、記録に残すようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目(亀山①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	毎月の職員会議で本人の希望、家族の意見・相談を基に話し合い、現状維持または、向上できるように介護計画の作成を行っている。	職員会議で利用者が書道をしてみたいとの希望を聞き、家族と相談して道具を揃え、書き初めなどホームに展示することで現状維持の継続につながる介護計画の作成がなされている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	入居者ごとの個別記録に、気付きや本人の主張など記入し、職員間で共有している。また、それに基づき意見交換をし介護計画の見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ホーム内で、ボランティアの方によるレクや催し物など、外部の方に参加していただける機会を作っている。又、今後も地域サービスへの参加を継続していく。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	近隣のグループホームとの交流やボランティアの協力依頼、中学校の職場体験、また、子供会、消防署などと協働できるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入居前からのかかりつけ医を継続できるよう支援をし、受診時に必要な相談をしたり、指導を受けられるようにしている。また、専門医への受診もすることがある。	利用者、家族の要望があれば今までのかかりつけ医に継続して受診できるよう支援している。受診の際は、職員が同行し、状況を説明し、指導を受け、その後のケアに活かせるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項 目(亀山①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>職員として看護師を配置し、出勤時に健康管理等を行い、介護職員も日々の状態を報告、早目に受診し適切な治療が受けられるように支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院時には医療関係者との情報交換や相談・継続的な支援の必要性を話し合い、退院後の生活がスムーズに出来るように連携をとっている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>重度化した場合を想定し、家族に早い段階から話し合いを行っている。その意見をもとに、主治医や看護師、職員と今後の対策については、本人にとって最良の終末を迎えられるようにカンファレンスを開き支援に取り組んでいる。</p>	<p>重度化した場合や終末期のあり方などを話し合い、説明し、さらに特養への申込みや入院などの対策や選択肢を提示し利用者にとって何が最適であるか家族や主治医、看護師、職員が情報交換し支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>緊急時マニュアルに沿って対応の仕方を職員会議などで全職員に発信、定期的に救命講習を受け実践につなげている。判断に迷った場合にも主治医・看護師・管理者に連絡をとるなどし対応している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回以上、避難訓練を実施し、そのうち1回は消防署より指導を受けている。また、地域の避難訓練にも参加し、災害時協力を得られるよう日頃から顔馴染みの関係を作っている。</p>	<p>夜間想定避難訓練を行い、気づいた点、反省点などを話し合い次に繋げ防災の向上としている。地域の町内会長や社会福祉協議会などからも声をかけてもらっているが、土砂、水害などの場合、避難場所までかなり距離があるため地域の関係者とより一層の連携を取り合っていくよう努力している。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(亀山①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	プライバシーを配慮した声かけや対応などを行っている。また、記録などの確認をし、定期的に指導を行っている。	排泄に関しては大便など直接的な言葉を使用せず職員同士ではクロ、アカなど色を用い利用者に配慮して話すようにしている。記録の書き方に関しても、「職員の目をぬすんで」と書くのではなく「目を離している際に」などと人格を尊重する記載方法を検討し配慮対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	それぞれの状態や能力に応じ、可能な限り自己決定の支援を行っている。また、意思表示が困難な方は、表情などを細かく観察するようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	本人の希望に応じて、無理のないよう買物や散歩、ドライブなどを行うよう支援している。レクへの参加の声掛けを行い、その日の体調や気分によって、選択できるようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	散髪や髪染めを、本人の希望に合わせて、馴染みの店で行っている。また、服選びは数種類の中から本人と相談のうえ決めるようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	献立を入居者と一緒に考えることがあり、買物や調理、盛り付け、片付けなど一緒に行っている。また、行事・誕生日には工夫を凝らした料理やお酒を出し、楽しんでいただいている。希望によっては外食をすることもある。	えのきを細かく捌いたり、利用者ができる範囲で自信を持ち楽しみながら食事作りに参加している。みんなで作った食事を職員も一緒に食べながら、利用者への目配りをし、一人ひとりに対応した食事の提供の工夫に繋げている。	

自己評価	外部評価	項目(亀山①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>野菜を中心とした食事を提供している。体重の増減や栄養状態、医師の指示に基づき個別に量も調整している。嚥下状態に合わせ、ミキサー食や刻み食を提供し水分にはトロミを加えたり、ゼリーにしたり形態を変えて摂取していただいている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアの声かけをし、困難な方には介助を行い清潔保持に努めている。毎日入れ歯の消毒も実施しました、必要に応じて訪問歯科の指導も受けている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>本人の状態や状況に応じて排泄パターンを理解し、トイレの声かけ、誘導、交換を定期的に行い、なるべくトイレで排泄できるよう支援している。また、本人に応じた排泄用品を検討している。</p>	<p>できるだけトイレで排泄できるよう自立に向けた見守り支援が行われている。夜間の回数や量は個人差があるので利用者ごとに対応し、利用者の訴えに配慮した支援が行われている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘予防のため、水分や乳製品、繊維質の食材を献立に取り入れている。また、歩行運動や腹部マッサージを実施し、自然な排便ができるよう食後にはトイレに行く習慣をつけている。便秘気味の方には、排便確認表で管理を行い、服薬等で調整することもある。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>予め予定を立てているが、希望する回数や時間など、体制の可能な限り対応できるように配慮している。</p>	<p>徐々に介護度が上がってきている利用者に合わせて手すりの数を増やす等、安全な入浴に配慮している。同性の介助を望む利用者にもできるだけ希望に添うよう支援がなされている。入浴剤や温度管理など、気持ちよく入浴できるよう配慮されている。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(亀山①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>居室の環境整備、室温管理を行 い、足浴の実施や、日中の活動量 を増やすなどの工夫をしている。 体調によっては早めに休んでい ただくこともある。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>服薬ファイルがあり、変更、服 薬時など確認を行っている。状 態も常に把握し、不明な点など あれば、主治医や薬剤師に相 談、また指導を受けるように している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換等 の支援をしている。</p>	<p>食事作りや畑仕事、手芸、作 品作りなど、それぞれの得意分 野を見つけ、役割を持って行 えるよう支援している。また、 本人の希望に沿って支援を行 っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援して いる。</p>	<p>できるだけ本人の希望に応じ 、買物や散歩、ドライブ等と出 掛けるようにしている。また、 入居者の状況に合わせて、 家族の協力も得ている。</p>	<p>近くの神社への散歩、買物、 寿司屋への外食、元住んでいた 家を見に行くなど利用者一人 ひとりの思いを受け止めたい と、職員、家族、地域が協力 しながら支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	<p>本人の状態に合わせて所持 (少額)していただき、欲しい ものや必要なものなどを買 物時などに、使えるように支 援をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(亀山①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	本人の希望に合わせて、定期的に電話したり、ご家族から連絡があった場合、電話の取次ぎをしたりお届け物の場合一緒に開封したり手紙を代読することもある。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	日々の清掃・消毒を行い時には、芳香剤を使用したり、季節に合った飾りつけ、展示物、模様替えなど、入居者と一緒に工夫し行うことで、居心地のいい空間を作っている。入浴時には脱衣場の温度調節を行っている。	外の景色が見える共用空間には多くのソファが置かれ利用者の成果物が飾られ居心地良く過ごせる工夫がされている。利用者は居室にいることはほとんどなく、おcaずの匂いの漂う空間でお喋りや折り紙などを楽しみ、職員が録画した利用者の好きな深夜便を聞くなど今までの生活が送れるよう配慮支援している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共用空間では気の合う方との席の配置、談話室にはソファを設け、テレビ鑑賞など思い思いに利用されている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人・家族と相談の上、今までの環境とあまり変わらないよう、慣れ親しんだ家具や食器などを持ってきていただいている。また、本人の好みの装飾品などを置き工夫している。	利用者の手の届く範囲に使い慣れた日用品が置かれ取りやすい工夫がなされている。利用者の状態に合わせてリクライニングベッドの使用ができ快適に暮らせるよう配慮されている。利用者や職員と一緒に衣替えなどを行い居心地良く過ごせる部屋づくりが行われている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	入居者の状態に合わせた椅子やテーブル、手すりなどを設置し移動がスムーズに出来る様になっている。また、状態に応じて目印などで対応している。		

V アウトカム項目(亀山①) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(亀山②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所の理念を玄関に掲示している。職員は出勤時に確認を行なっている。また理念達成に向け具体的な目標を立て職員全体や個々人で話し合いを行い実践に繋げている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	自治会にも加入し、地域のお祭りに参加している。日々の買い物や散歩の時に近隣の方と挨拶や話をしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	毎年、中学生の職場体験を受け入れている。小学生の町探検でグループホームという施設を知ってもらう訪問あり。また、初任者研修の実習の場として提供している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議では、ホームでの取組んだ行事や今後の行事予定、事故報告等を報告している。参加者が自由に意見が言えるような雰囲気作りを心がけている。また、運営推進会議で出た意見は適宜共有・周知しサービス向上に活かしている。身体拘束防止委員会で話し合った内容の報告も行っている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	季刊誌を定期的に送付している。また、ホーム内での事故・感染等が発生した場合の報告を行っている。地域包括支援センターとの連絡も取り合い、協力関係が築けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目(亀山②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	外部研修の参加、ひなたぼっこ全体の内部での勉強会を行っている。また、身体拘束防止委員会を実施し、ケアの中で身体拘束にあたる行為やグレーゾーン、不適切なケアはないか見直し、職員会議の時に話し合いや検討を行い身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	研修会に参加している。日々の利用者の観察からその都度話し合いを行い、職員会議時にも話し合いの機会を持っている。また、職員会議の時に定期的に勉強会を行っている。その際に具体的にホーム内で虐待にあたる行為はないか話し合いを行い、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	職員会議や外部研修等、学ぶ機会を作っている。現在、成年後見を利用している入居者はいないが過去、利用された事例があり、制度利用が必要と思われる方には、紹介するようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	十分な時間をとり、詳しく説明を行い家族の同意を得るようにしている。不安や疑問等について、いつでも確認が出来るように対応している。家族等が十分理解、納得してから契約を行なうようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者、家族アンケートを行なっている。利用者、家族の満足度をケアカンファレンスの時に確認したり、ケアプラン作成時に利用者・家族に意見・要望を確認し反映している。そこから職員会議の時に意見等を話し合い運営やケアに活かしている。		

自己評価	外部評価	項 目(亀山②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	運営について、定期的に職員会議で意見を聞くようにしている。必要があれば会議以外でも意見を求めるようにしている。意見は随時報告・連絡を行っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	面談にて職員個々の意見を聞く機会を設けている。また、職員が努力し、やり遂げた事に関して、評価し向上心を持って仕事ができるようにしている。職員の資格取得を支援している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	外部研修に積極的に参加できる勤務体制を整えるよう考慮している。ひなたぼっこ全体で内部研修を行い、技術、知識の向上に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同じ地区のグループホームと交流会と合同運営推進会議を年に1回ずつ行っている。また広島市のグループホーム交流会にも参加している。交流会には職員も参加し他グループホームの取り組みなどを聞いたり意見交換を行なっている。職員会議の時に報告している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	事前面談を行なっている。必要があれば2~3回面談を行い、本人の状態把握、不安や要望等の確認を行なっている。また、体験入居を行なっている。早期に信頼関係が築けるように対応している。		

自己評価	外部評価	項 目(亀山②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	十分な時間をとり、家族の希望や不安などを確認するようにしている。いつでも相談できるように対応している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	家族、利用者の状況等を十分に確認し、必要であれば他のサービスを紹介する事もある。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者の気持ちに配慮し、日々の生活の中から教えてもらう場面や料理や畑仕事など役割を持ち、活躍の場を作るようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族関係が維持できるように、面会時には日々の様子を報告し、情報を共有するようにしている。生活記録からも確認できるように開示している。また利用者が家族便りに家族への手紙を書いて送付したり、電話をかける機会を作っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	近隣の友人の面会がある。その関係が維持できるように訪問しやすい雰囲気や心掛けていく。家族にも友人に面会に来て下さるよう働きかけてもらうようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目(亀山②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う仲間同士が同じテーブルになるようにしている。いい関係が維持できるようにしている。一緒にドライブに出掛けたり、レクリエーションや談話の場を作り利用者同士の関わりを大切にしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	不定期ではあるが、面会に行っている。面会時に家族と会う事もあり、相談等にのる事もある。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その都度、利用者の希望を確認している。また、表情や行動、言動・会話から利用者の気持ちをくみ取るように心がけている。その中からなるべく本人の希望に添った暮らしができるようにしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の事前面談で生活歴等を確認している。また、入居後も本人から聞いた話を家族に確認し、生活歴の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	利用者一人ひとりの生活リズムを把握するよう努めている。また、出来る事、難しい事についても日々の気づきを記録し、職員間で情報を共有するようにしている。職員は毎日の申し送りで確認している。		

自己評価	外部評価	項 目(亀山②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>月一回の職員会議の時にケアカンファレンスを行なっている。家族にも介護計画説明時に意見を求め、本人、家族の希望に添った介護計画を作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別ファイルに日々の様子を具体的に記録している。毎日申し送りを行い、職員は情報を共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>利用者、家族の希望や状況に応じて柔軟な対応を心がけている。本人の希望に添い、「どこかに行きたい」「仕事をしたい」などをケアプランに取り入れ希望が叶うように支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の歌のボランティアや子供会の慰問など地域の方の協力を得て、行事に参加させていただいたりしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>かかりつけ医は家族と相談し決めている。日々の観察から不調、体調変化時は早期に受診している。受診時は家族へ報告している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(亀山②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護師を配置し、利用者の健康状態や状況に応じた受診対応など随時行い、支援を行なっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には医師や看護師に詳しい情報を提供している。また、なるべく多く面会に行き利用者の不安軽減と入院時の情報を聞いたり、状態を見に行くよう努めている。退院時にも詳しい情報を得るようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	主治医、看護師、家族と話し合いを十分に持ち、家族や本人の希望を確認しながら今後の方針を決めている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルに基づいた勉強会や訓練を定期的に行ない急変時の対応がとれるようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	マニュアルに基づいた研修や訓練を定期的に行なっている。また、消防署職員により指導していただいている。運営推進会議の時に訓練を行なう事もあり地域の方にも参加していただき意見をもらうようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目(亀山②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員会議の時に勉強会を行なっている。具体的にプライバシーの侵害になる事はないか検討している。声掛けやケアにも配慮しながらケアを行なっている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日々の生活の中で希望を聞くようにしている。自己決定しやすいような声掛けを行なっている。レクリエーションへの参加や作業を行なう時など、日常生活の中でなるべく多く自己決定できるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者の生活リズムを優先するように職員会議の時に話し合いをする機会を設けている。利用者のペースを大切に、したい事・したくない事等、希望・要望の声に添えるようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	利用者の希望に添って毛染めや化粧ができるようにしている。毎朝、洋服を選ぶ時も利用者の希望を聞きながらケアを行なっている。理美容の時期も利用者・家族と相談し行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者と一緒に食事作りや盛り付けを行なっている。利用者が食べたい食事がある時はその日の食事に取り入れるようにしている。また、外食や宅配なども利用者の希望に添って決めている。		

自己評価	外部評価	項 目(亀山②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>利用者一人ひとりの食事量、水分量を把握し、それに合わせた量の提供を行っている。利用者の状態に合わせ必要であれば刻み食やトロミをつけ安全に食べることができるように支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後に口腔ケアを行なっている。義歯の管理も行っている。必要な方には訪問歯科による口腔ケア、治療を受けてもらい指導や助言をもらっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>一人ひとりの排泄リズムの把握に努め、声掛けを行いトイレでの排泄が保てるように支援している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>毎日排便の確認を行なっている。日々の食事や適度な運動を心がけている。主治医や看護師との連携も図り便秘予防に努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>曜日・時間帯等は決める事なく、声掛けを行っている。洗身・洗髪や入浴時間の長短等利用者のペースや希望に添って支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(亀山②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>安眠できるように環境整備して いる。夜間に目が覚めても職員 と一緒にテレビを観たり、希望 があれば夜食を食べていただい たりしている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>職員は利用者の薬の内容を把握 している。服薬確認は必ず3回 行ない服薬ミスがないようにし ている。新たな薬が処方された 時には薬剤師に効果、副作用 などを指導してもらい職員は薬 について理解して利用者にも 内服してもらっている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換等 の支援をしている。</p>	<p>利用者の力に合わせて食事作り や洗濯物たたみなどをしていただ いている。楽しみとされている事 や嗜好品についても本人、家族 と話し合いを持ちなるべく本人 の希望に添えるようにしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられるよ う支援に努めている。また、普 段は行けないような場所でも、 本人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。</p>	<p>買い物や散歩、ドライブを行な っている。利用者が「○○へ行 きたい」と希望された場合は希 望に添って外出などを支援して いる。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>一部の入居者はおこづかいを持 ち、自分で購入されている。本 人管理が難しい場合でも希望 があれば立替にて好きな物が購 入できるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(亀山②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>家族へ電話をされたり手紙を書いている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節に応じた飾り付けを行い、散歩時には花を摘み飾ったりしている。生活感や季節感を感じて過ごせるよう行っている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>利用者がくつろげるような家具の配置にしている。施設内だけでなく、中庭や駐車場にも椅子を配置し、思い思いに過ごせるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室は今まで使用していた馴染みの物なるべく持ってきていただくようにしている。家族の写真や花を飾られ居室でもくつろげるようにしている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>利用者の状況に応じた環境整備を行っている。トイレなどの目印をつけている。利用者の状況が変化した時はそれに合わせて環境整備を行わないなるべく自立した生活が送れるようにしている。</p>		

V アウトカム項目(亀山②) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームひなたぼっこ・亀山

作成日 令和元年12月24日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議へ家族の参加が見込まれない。	運営推進会議の内容を 書面にし御家族に興味 が湧き参加者が増える。	契約時、お便り、掲示 で参加の呼びかけを行 い、議事録を作成しグ ループホームのあり方 の説明を行っていく。	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。